

OME

市議会だより

No.271
令和7年(2025)
5月15日

令和6年青梅市議会定例会
令和7年1月臨時議会・2月定例議会



令和7年度全会計予算を可決！



令和7年1月臨時議会が1月20日に開催され、令和6年度の補正予算1件が原案どおり可決されました。

令和7年2月定例議会は、2月18日から3月25日までの36日間の期間で開催されました。初日の本会議では、市長の施政方針演説を聴取した後、議案審議が行われました。一般質問は、3月4日から6日までの3日間にわたって行われました。上程された議案は、市長提出議案が条例18件、当初予算7件、補正予算7件、財産1件、人事2件、その他15件の全50件、委員会提出議案1件で、いずれも原案どおり可決または同意されました。また、陳情3件が審議され、いずれも趣旨採択となりました。

◆会議の開催状況◆

- 【1月臨時議会・・・期間1月20日（1日間）】
◆1月20日 議会運営委員会、本会議（議案審査等）、予算決算委員会、文化複合施設整備特別委員会
◆2月13日 議会運営委員会
【2月定例議会・・・期間2月18日～3月25日（36日間）】
◆2月18日 本会議（市長施政方針演説、議案審議等）
◆2月19日 総合病院建替特別委員会
◆2月21日 議会運営委員会
◆2月25日 環境建設委員会、福祉文教委員会
◆2月27日 議会運営委員会、総務企画委員会、福祉文教委員会
◆3月3日 予算決算委員会（一般会計補正予算）、全員協議会、文化複合施設整備特別委員会
◆3月4～6日 本会議（一般質問）
◆3月10日 議会運営委員会、本会議（委員会議案審査報告等）、環境建設委員会
◆3月13・14・17・18日 予算決算委員会（一般会計予算）
◆3月25日 議会運営委員会、本会議（委員会議案審査報告等）

【主な内容】

- ◆市長提出議案の主な内容・令和7年度一般会計予算…2面 ◆予算決算委員会での主な質疑…3面
◆一般質問…4～7面 ◆視察報告…7面 ◆議案・陳情の議決結果…8面 ◆6月定例議会会議予定…8面

市長提出議案の主な内容

1月臨時議会

令和6年度青梅市一般会計補正予算(第6号)

国の令和6年度補正予算において増額された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、低所得者世帯へ給付金（住民税非課税世帯に対し1世帯あたり3万円および18歳以下の児童1人あたり2万円を加算支給）を支給する。

2月定例議会

令和6年度青梅市一般会計補正予算(第7号)

年度内に執行が必要となる経費について追加を行う一方、事務事業の目的を達成した経費について、整理、減額する。

【主なもの】

- ・国の補正予算による補助事業採択にもとづく、令和7年度実施事業の前倒しに伴う増額（学校施設整備経費）
- ・公共施設整備基金への積立

青梅市吉川英治記念館の指定管理者の指定について

【指定管理者となる団体】

株式会社フクシ・エンタープライズ

【指定の期間】

令和7年4月1日～令和12年3月31日

物品の買入れについて

青梅市新学校給食センター（仮称）厨房機器等購入
厨房機器等（調理関連機器、炊飯関連機器等）一式

【契約の方法】指名競争入札

【契約金額】12億1千万円

令和7年度一般会計予算

一般会計予算の概要

令和7年度一般会計予算の歳入歳出の総額はそれぞれ654億5千万円となり、前年度比66億5千万円、11.3%の増となった。

歳入については、地方特例交付金、地方譲与税が減額となった一方で、市税、国庫支出金、都支出金、諸収入等が増額となった。

歳出については、総合長期計画の様々な施策の強力な推進、重点事業の実現に向けた予算措置を行い、民生費、衛生費、土木費、教育費が大幅に増額となった。

予算の使い道を性質別にみると、物件費や扶助費、補助金等の消費的経費が増額となった。投資的経費については、青梅駅前地区市街地再開発事業補助金や新学校給食センター、矢端川今井2丁目調節池の整備、美術館や市営住宅、幹線道路の改修などにより増額となった。

令和7年度の主な施策

【総務費】

- ◆河辺町1～3丁目地区に新たな公共交通を導入
- ◆マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成の実施

【民生費】

- ◆長寿ふれあい食堂に対する補助
- ◆認知症サポート検診の開始
- ◆妊産婦支援のため給付金やギフトを支給

【衛生費】

- ◆河辺駅北口駅前喫煙スポットの設置
- ◆釜の淵公園ごみ実態調査の実施

【農林水産業費】

- ◆農業振興計画の策定

【商工費】

- ◆物価高騰対策キャッシュレス決済ポイント還元事業
- ◆商・工業振興プランの策定（2か年事業1年目）

【土木費】

- ◆わかぐさ公園にインクルーシブ遊具を整備
- ◆青梅駅前地区市街地再開発事業に対する補助
- ◆市営住宅長寿命化の推進
(日向和田住宅外壁改修工事等)

【消防費】

- ◆災害時医療資機材備品等の購入

【教育費】

- ◆小・中学校の施設整備
- ◆青梅エクストリームスポーツパークのオープン
- ◆住友金属鉱山アリーナ青梅（総合体育館）のLED化等改修（2か年事業1年目）

【民生費・教育費】

- ◆保育所・幼稚園等に通う児童の副食費の無償化
＊各園の副食費が公定価格を超えた分は除く
- ◆私立学校等に通う子ども・公立学校で給食を食べられない子ども等に給食費相当額を支給

予算決算委員会での主な質疑

令和7年度一般会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（久保富弘委員長、片谷洋夫副委員長）に付託され、3月13日、14日、17日、18日の4日間にわたり審査が行われました。

【総務費】 河辺町1～3丁目地区の 新たな公共交通導入事業

Q いつ頃から実施予定であるか伺う。また、車両の検討は。
A 令和7年4月に地域組織と運行計画の概要について協議を行い、5月に公共交通協議会での協議を経て、運行事業者を選定する。その後、8月に事業者から国土交通省関東運輸局へ事業認可を申請し、審査を経て、12月からの運行開始を予定している。実証運行の結果分析等を踏まえて、地域住民と車両も含めたルート、運賃、運行形態等を検討していく予定である。

【総務費】 市民センター施設整備

Q 市民センター施設整備経費の工事費の内訳を伺う。
A 沢井市民センター体育館玄関エントランス部改修工事5,033万4千円、東青梅市民センター体育館の屋根改修工事4,174万5千円、空調設備工事2,378万2千円、河辺市民センター体育館空調設備工事2,242万4千円である。

【民生費】 介護ボランティアポイント事業

Q 事業の概要を伺う。
A 介護ボランティア活動を通して高齢者の生きがいの創出や介護予防を推進するとともに、介護人材確保につなげることを目的として、介護ボランティア活動を行った方に対しポイントを付与する。ポイントは市内の物産等と引き換えることができるギフトカタログ等を考えている。

【民生費】 認知症サポート検診事業

Q 事業の概要を伺う。
A 70～75歳までの高齢者を対象として実施する予定である。70歳の方には受診券を送付し、71～75歳の方については広報やホームページ、公式SNSで周知し、希望する方に受診券の発行を予定している。市が契約する医療機関で、自己負担なく認知機能検査を受けられる事業である。

【民生費】 保育所等に通う3歳から5歳までの 児童の副食費無償化

Q 想定している人数、開始時期は。副食費補助金で保護者の負担はなくなるのか。
A 認可保育所1,382名、認定こども園99名、認証保育所2名、認可外保育所31名を想定している。令和7年4月から開始予定である。市内の認可保育所をはじめとする保育施設では、副食費として4,500円を設定していると聞いており、この4,500円を市で補助するため、補助者負担はゼロになる。
※幼稚園に通う園児の副食費無償化の予算は教育費。

【衛生費】 釜の淵公園のごみ実態調査

Q バーベキューごみの量や質の調査のことだが詳細は。
A 釜の淵公園の河川敷で行うごみ実態調査に係る費用である。ごみ量実態調査委託については、調査日に、朝から夕方まで時間を区切り、釜の淵公園内にコンテナ型のごみ箱を設置するとともに、収集運搬委託業者の作業員を配置し、市職員とごみを捨てる方への分別の指導や、ごみの運搬を行う業務である。ごみ収集周知委託については、調査日に、河川敷の清掃と、臨時にごみを回収していることや直火禁止等の周知をする業務である。ごみ分析調査については、運搬したごみを選別して組成分析を行う調査委託料である。

【商工費】 キャッシュレス決済ポイント還元事業

Q どのようなキャッシュレス決済を利用する予定であるか。
A 実際にどのようなポイント還元方法が有効であるか市場調査を行い、その結果をしっかりと分析し、物価高騰等の影響を受けている事業者支援として広く還元できるように検討していきたいと考える。

【土木費】 わかぐさ公園の整備

Q わかぐさ公園の遊具整備はどういったものを検討したのか。舗装工事の概要を伺う。
A 遊具は、親子や友達と一緒に滑ることができる幅の広い滑り台や幼児用の低い滑り台、また、車椅子利用者にも楽しんでいただけるような幅広のスロープ等も兼ね備えたユニバーサルデザインに配慮した複合遊具を想定している。選定する際には、近隣住民、地元の小学校や保育所、わかぐさ公園利用者等へのアンケートなどで意見を聞いて決定していく考えである。舗装工事については、園路の外周の未舗装部分約1300m²を整備するほか、ベンチ、テーブルを各2組と歩行標識8基を設置する予定である。また、遊具の周辺については、ゴムチップ舗装を設置して安全確保に努める。

【土木費】 青梅駅前地区市街地再開発事業補助金

Q 補助金の財源の内訳と昨年度より増額となった理由を伺う。
A 国費が7億2,063万9千円、都費が2億5,066万6千円、市費が4億1,533万1千円の合計13億8,663万6千円である。増額となった理由は、令和7年度は7階から14階までの建築工事のほか、仕上げ・設備関係工事や外構など周辺整備工事を行うことから増額になるものである。

【教育費】 美術館の改修工事

Q 2か年の改修工事が令和7年度で終わると思うが、具体的な工事スケジュールを伺う。
A 空調設備と電気設備の改修工事は、令和6年12月20日から令和8年3月16日までの予定となっている。昇降機の改修工事は令和7年1月21日から令和8年3月16日までを予定している。

【歳入】 固定資産税

Q 固定資産税の現年課税分が令和6年度に比べ増額となっているが、今井土地区画整理地内の土地の影響額を伺う。
A 区画整理も進み現況が大きく変化したため、令和7年度の課税では、農地から雑種地への課税地目の変更を見込んでおり、この課税地目の変更による影響額は、1億円余の増額を見込んでいる。

【総括質疑】 令和7年度予算の総括

Q 市長は令和7年度予算をどう総括されるのか伺う。
A 私（市長）が予算編成のスタート時点から主導した初めての予算であり、総合長期計画の掲げる将来像の実現に向け、様々な施策の強力な推進、重点事業へ取り組み、さらに、持続可能な行政運営の確立を目指し、必要な予算措置を行った。予算に計上した施策の目的を着実に達成し、速やかに効果が発現できるよう取り組むとともに、市民の皆様が青梅に住んでいて本当によかったですと思っていただけたよう、新年度の市政運営に取り組んでいきたい。

一般質問

令和6年青梅市議会定例会令和7年2月定例議会では、
21名の議員が一般質問を行いました。

用語の解説

注1…人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）（4面・湖城議員）

自分が大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療ケアを受けたいかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと共有しておくこと。

注2…ウェルビーイング（5面・久保議員）

個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。

注3…コミュニティ・スクール（7面・鴻井議員）

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るためにの仕組み。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。

注4…ライフサイクルコスト（7面・ぬのや議員）

建物の建設費用だけでなく、企画・設計・施工・運用・維持管理・補修・改修・解体・廃棄に至るまでに必要な総費用。



青梅市議会映像配信
QRコード

インターネットの議会映像配信にて、
すべての内容を御視聴いただけます。



なかの
中野 芳則 (自民クラブ)

- 1 保育士等の負担軽減について
- 2 青梅駅前にぎわい創出について
- 3 高齢者や子どもの居場所づくりについて
- 4 健全で安定的な財政運営について



■保育士等の負担軽減について

問 ICT導入にかかる補助金の概要は。

導入している保育所は。

答 端末機器の購入およびシステムの導入を初めて行う保育所等を対象に、1か所110万円の範囲で支給を予定している。負担割合は、国1/2、市1/4、保育所等1/4である。既に28か所の保育所で導入しており、令和7年度には、新たに4か所の認可保育所が導入を予定している。



■青梅駅前にぎわい創出について

問 店舗の誘致や近隣環境の活用に市も積極的に参画し、支援する必要があると考えるが見解を伺う。

答 青梅駅前地区市街地再開発事業等を好機と捉え、青梅駅前周辺の活性化に向けた整備を推進するとともに、にぎわいの創出について更に尽力していく。



はせがわ
長谷川 真弓 (公明党)

- 1 青梅市民防災ハンドブック等を活用した防災啓発について
- 2 循環型社会に向けた取組について



■青梅市民防災ハンドブック等を活用した防災啓発について

問 乳幼児の母親の防災意識向上のため、検診や健康診断で防災対策の周知を行ってはどうか。

答 各地域の防災訓練等に、乳幼児連れの方に参加していただけるよう周知に努め、参加が難しい場所でも、平常時からの避難経路の確認や、備蓄物品の準備などについて、周知に努めていく。



■循環型社会に向けた取組について

問 使用済み食用油を資源とした航空燃料SAFの推進の取組について、市の見解を伺う。

答 持続可能な未来を実現するために重要であると認識しており、廃食用油の回収量を増やす新たな方策を考えるとともに、SAFへの活用も研究していく。



あべ
阿部 悅博 (自民クラブ)

- 1 多死社会に突入した青梅市の考え方について
- 2 青梅エクストリームスポーツパークの運営方針や利活用について
- 3 カスタマーハラスマントに対する市の考え方について



■多死社会に突入した青梅市の考え方について

問 既に迎えた多死社会について、火葬場の市民優先の運用等適正な対応を図るために検討していることは。

答 市民優先の運用について、本市の状況にあった具体的な方法を検討し、まずは年末年始等の混雑時に実施していく。火葬炉等のメンテナンスを計画的に行い、施設の保全を図っていく。



■青梅エクストリームスポーツパークの運営方針や利活用について

問 自治体をまたぐ広域利用について、どのように考えるか。

答 市外の方も利用可能であり、近隣の西多摩地域の住民の方々へも競技が広く普及され、関係人口の増加に繋がるものと捉えている。



こじょう
湖城 宣子 (公明党)

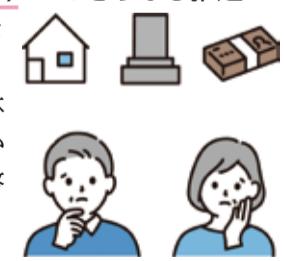
- 1 避難行動要支援者への取組について
- 2 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）のさらなる推進
- 3 自治会における情報伝達の効率化



■人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）^{注1}のさらなる推進

問 実際に市民に人生会議を行ってもらうことを想定した取組の考えは。

答 参加者が実際に人生会議を行うイメージを体験したり、自ら始めてみようと考えるきっかけとなるような事業を工夫し、今後も普及啓発に努めていく。



■自治会における情報伝達の効率化

問 デジタル回覧板のさらなる活用について伺う。

答 デジタル回覧板には、緊急放送の機能があり、文字や画像などの視覚的な情報以外の配信も可能である。防災行政無線の放送内容の配信については、互換性を検証するとともに、運用方法について研究していく。新たな機能の導入については、自治会連合会と協議していく。



久保 富弘 (自民クラブ)

- 1 青梅市における森林対策について
—森林環境譲与税及び森林経営管理制度について—
- 2 包括連携協定等にもとづく
これからの共創について



■青梅市における森林対策について

問 管理しづらい森林の管理等をどのように考えているか。
答 山林を有しない自治体へのさらなる働きかけは。
森林経営管理制度の活用で、所有者の明確化や集積化が図られ、作業道が整備されることから、山全体の森林整備が進むものと考える。本市の森林経営管理制度や森の扱い手育成の取組を強くPRしていく。

■包括連携協定等にもとづくこれからの共創について

問 「化粧のちから」の活用のため、化粧品メーカーと連携協定を結ぶことについて市の見解を伺う。
答 「化粧のちから」によるウェルビーイング^{注2}の向上も考えられる事から、連携協定の締結に向け、検討していく。



迫田 晃樹 (自民クラブ)

- 1 公共施設再編の考え方について
- 2 今井土地区画整理事業着工後の周辺環境の変化について



■公共施設再編の考え方について

問 公共施設の延べ床面積削減目標「2025年度末7.5%削減」に対する現時点における進捗状況は。
最終目標「2055年度末30%削減」を見直す考えは。
これまでの遅れを挽回する策は。

答 昨年度末の時点で、約1.7%の削減率となっている。
現時点では、目標の見直しや、具体的な挽回策は考えていない。今後の社会環境の変化や人口構成なども踏まえ、必要に応じて適切に対応していく。



令和6(2024)年3月



茂木 亮輔 (日本維新の会)

- 1 大阪・関西万博に行こう！
—最先端技術と異文化交流が体験できる最高の学びの機会を子どもたちに—



■大阪・関西万博に行こう！

問 万博の持つ教育的価値について、教育長の見解を伺う。
答 世界各国の最先端技術、多様な文化や歴史等を知り、直接体験することができる貴重な機会であり、教育的な価値は非常に高いと考えている。

問 万博首長連合加盟自治体である青梅市が出来ることとして、大阪・関西万博に向けた機運醸成の取組をすべきであると考えるが、市長の見解を伺う。



答 青梅市民への機運醸成を図るため、広報おうめや市のホームページ等を通じた情報発信について、検討していく。



山崎 哲男 (自民クラブ)

- 1 姉妹都市提携について
—ポッパルト市との60周年に向けた取組—



■姉妹都市提携について

問 「ポッパルトの雫」の生産・販売に関する課題や醸造所の設置について、市長の考えは。
答 原料となるぶどうの収穫量が天候によりばらつきがあるなどの課題がある。また、生産者の確保や、情報発信により商品価値を高めていくことも必要である。さらに新たな課題として、国税庁の指導により、今後は名称を変更する必要性が生じている。醸造所は採算性等の観点から課題が多く、現時点では難しい。



問 姉妹都市であることを示す看板を奥多摩街道の河辺小前の歩道橋にも設置し、姉妹都市交流をより広く周知しては。
答 機運醸成の方策全体の中で検討していく。



目黒 えり (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 妊娠、出産の諸課題について
—無痛分娩、マタニティハラスマント対策を—
- 2 適正な放課後の児童の居場所づくりを
—認証学童クラブ事業、夕やけランド—
- 3 ごみの減量対策について
—一生ごみ処理機購入費用の補助を—
- 4 健康寿命日本一のまちを目指して
—フレイル、オーラルフレイル予防の取組—



■妊娠、出産の諸課題について

問 市立青梅総合医療センターにおける無痛分娩の開始時期、受け入れ人数は。
答 本年7月から試行で開始し、10月から本格実施する。
まずは週に1件から開始し、年間50件程度を見込んでいる。



■健康寿命日本一のまちを目指して

問 都において新設される「後期高齢者医療歯科健康診査事業」を活用し、青梅市の後期高齢者歯科健康診査を無償化しては。
答 受診率の向上を図り、治療等に繋げることで、健康寿命の延伸に寄与することが期待されることから、本事業の活用について検討していく。



山田 敏夫 (自民クラブ)

- 1 道の駅の整備について



■道の駅の整備について

問 自治体が地域産業振興に取り組む意義と課題は。
答 産業振興は、「地域経済の強化」や「雇用の創出」、「持続可能な社会の構築」等に寄与する重要な施策であると捉えている。市内企業の労働生産性向上の支援や、事業の拡大、地域外からの企業誘致が可能な事業用地の確保など、環境整備が必要である。



問 地域産業振興の起爆剤として、道の駅の施設建設に向けて、前向きな答弁を。
答 立地場所と一定規模の土地の確保、販売品の開発と安定供給、事業として継続可能な運営などの課題があり、総合的に判断し、設置は困難であると判断している。なお、課題が改善された場合には、検討していく。



寺島 和成 (自民クラブ)

- 1 新年度の市政運営に対する施政方針について
- 2 青梅市における空き家対策について
—移住・定住促進の視点から—
- 3 ふるさと納税など収入増に関する取組について



■新年度の市政運営に対する施政方針について

問 観光振興における回遊性の向上についての考え方を伺う。
答 回遊性の向上は、観光イベントを構築・実施する上で大切な視点の一つである。



新年度のデジタルスタンプラリーの実施に当たっては、回遊促進に加え、参加者にインセンティブを効果的に与えられるよう検討を進めている。

問 自治会連合会から、自治会が脱退する動きに対する市の対応は。
答 市から依頼している各種団体の委員等の推薦や役員を受けることが負担感につながっている。現在、市からの依頼事項については、自治会連合会の御意見を伺っており、その結果を踏まえた上で、対応策を考えていく。



片谷 洋夫 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 青梅市のさらなる魅力発信を
—親善大使、ふるさと大使、観光大使などについて—
- 2 施政方針演説について
—公共交通、市民センタータイプ館空調設備、ドローン、自治会、釜の淵公園河川敷のごみ等—



■青梅市のさらなる魅力発信を

問 一般市民をふるさと大使、観光大使に任命し、まちの魅力発信を行ってはどうか。
答 先行自治体の例などを参考とし、早急に制度を実現できるよう、さらに検討を進めていく。

東青梅市民センタータイプ館
(令和7年度 空調設備設置予定)

井上 たかし (日本共産党青梅市議団)

- 1 物価高騰に苦しむ市民への支援を
- 2 東部地域の今後のまちづくりについて
—変化する市民要望に応える公共施設を—
- 3 オスプレイ等の米軍機問題について



■東部地域の今後のまちづくりについて

問 市の東部地域については、より具体的なまちづくりのビジョンをつくる必要がある。都立誠明学園敷地内に公共施設を建設する旨の東京都との覚書については、あらためて都と協議が行われたか。
答 都とは昨年10月に協議を行っており、今後も引き続き、双方で共に検討していくこととしている。



■オスプレイ等の米軍機問題について

問 オスプレイなど米軍機の飛行に関しては、防衛省から情報提供も行われていない。市民にも情報提供を求めて実情を把握する必要があるのではないか。
答 市では、北関東防衛局から情報提供を受けている。
また、市民からの情報提供をもとに、市から北関東防衛局に問合せをすることで状況を把握している。



藤野 ひろえ (日本共産党青梅市議団)

- 1 高齢者の福祉・介護の充実を
- 2 公共交通の充実・改善を



■高齢者の福祉・介護の充実を

問 介護報酬の増額、介護職員の待遇改善等、国に制度の改悪をしないよう求めてほしいが、市の見解を伺う。
答 介護報酬の適正な単価設定、介護職員の待遇改善については、市長会を通じて繰り返し要望している。引き続き、必要な対応を図っていく。



■公共交通の充実・改善を

問 河辺地域でのグリーンスローモビリティの本格運行は、サービス圏外等移動が不便な地域への取組は。
答 持続可能な運行形態や運賃などについて、地域住民や関係機関と協議しながら、導入を進めていく。移動が不便な地域については、地域ごとの移動ニーズにきめ細かく対応できる移動手段の導入を検討していく考えである。



山崎 善信 (市民フォーラム青梅・都民ファーストの会)

- 1 市民栄誉賞の創設を
- 2 トイレカーの導入について
- 3 施政方針演説について
—歴史・文化・生涯学習について—



■市民栄誉賞の創設を

問 青梅市においても市民栄誉賞などの制度を導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。
答 すでに教育委員会において、「伝統文化奨励表彰」や「芸術文化奨励賞」等を設け、スポーツや芸術文化で功績を上げられた方を表彰していることから、現在のところ導入する考えはない。



■トイレカーの導入について

問 地域の特性に合ったトイレカーを導入すべきと考えるが、市長の見解を伺う。
答 近隣自治体の導入や運用の状況について情報収集するとともに、国や都の財政支援策などの動向を注視し、導入について、引き続き研究していく。



山崎 勝 (自民クラブ)

- 1 分煙対策等について
- 2 獣害対策について



■分煙対策等について

問 喫煙所整備については喫煙する方からも意見を聞く必要があるのではないか。
答 今後の喫煙所整備に当たっては、喫煙者の意見も伺う機会を設けるなど、喫煙される方も、そうでない方も気持ちの良い環境となるよう努めていく。



■獣害対策について

問 獣害報告LINEアプリを今後どのように活用していくのか。
答 SNSを活用した周知等により登録者を増やす取組みを進めていくとともに、利用者の投稿で正確な位置情報を即座に確認し共有できることから、青梅獣友会や青梅警察署と連携した獣害対策に活用していく。



みねざき 拓実 (日本共産党青梅市議団)

- 1 市の農業振興について
2 文化複合施設等の建設計画について



■市の農業振興について

問 認定農業者や認定新規就農者でなくとも、販売額などの基準を満たした農業従事者が何らかの支援を受けられるようにすべきだと思うが考えを伺う。

答 現在、認定農業者等以外への独自の基準による支援は行っていないが、既に近隣市町村や先行自治体の取組みについて情報収集しており、府内で研究を進めているところである。



■文化複合施設等の建設計画について

問 2023年4月のオープン予定がさらに遅れるのか。全身全霊で取り組み、1日も早くオープンできるようにすべきと思うが考えを伺う。

答 まずは、整備基本計画の策定を丁寧・慎重かつ着実に進めていく。



かもい 鴨居 たかやす (自民クラブ)

- 1 市内西部地域における交通政策について 2
2 施政方針演説について問う
3 西多摩の雄とはⅢ



■市内西部地域における交通政策について 2

問 西部地域に見合った交通政策を早急に進めてほしいと強く思っているが、市はどうのように考えているのか。

答 駅やバス停までの高低差があるなど、移動が困難な地域において、高齢者など交通弱者の日常生活を支える移動手段の確保が課題と捉えている。マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成事業を市内全域に展開していくほか、デマンド型交通の導入を検討している。また、病院や商業施設の送迎バスなど、地域の輸送資源を活用した移動手段の創出へ向け、運行事業者と協議するとともに、国土交通省関東運輸局に法改正を含む制度設計について要望している。今後は、これらの施策を着実に進め、地域公共交通の充実に取り組んでいく。



こうい 伸二 (公明党)

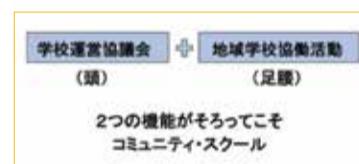
- 1 市街化調整区域の課題について
—盛土規制、農地転用など—
2 コミュニティ・スクールについて
—学校地域コーディネーターの支援を—
3 中長期の財政計画について



■市街化調整区域の課題について

問 市街化調整区域の課題をどう捉えているか。

答 持続可能なまちづくりを市内全域で推進していくためには、市街化調整区域における地域コミュニティの維持が課題の一つと捉えており、都とは、引き続き、既存宅地の活用などに向けた協議を進めていく。



■コミュニティ・スクール^{注3}について

問 コミュニティスクールの意義や期待される成果を伺う。

答 社会の在り方が多様化する中、これらの世の中を生き抜く人材を育成していくためには、学校と地域の連携は不可欠である。令和7年度で全校がコミュニティスクールになることにより、目標やビジョンを地域の方々と共に共有し、地域と一緒にとなって子どもたちを育むことができる「地域と共にある学校」へ近づくものと期待している。



ぬのや 和代 (立憲民主党)

- 1 移動困難者は特定地域の問題にあらず、市内全域でのデマンドバス実証実験を急げ！
2 公共施設100年長寿命化計画
3 ニツ塚処分場内のエコセメント化施設の改修工事は周辺の青梅市民に説明されているか？



■公共施設100年長寿命化計画

問 公共施設の傷んでいる部分の修復や設備改修を行うことで、公共施設100年寿命化計画を進めてはどうか。

答 公共施設等総合管理計画では長寿命化の実施方針として、長寿命化が明らかにライフサイクルコスト^{注4}の削減効果がある場合は積極的に実施し、その他は統廃合や集約化・複合化を推進し、施設を更新すると定めており、その方針に沿って施設の整備を進めていきたいと考えている。



■ニツ塚処分場内のエコセメント化施設の改修工事は周辺の青梅市民に説明されているか？

問 畑中、駒木町、和田町の住民に改修工事や埋め立て再開について説明があったのか。

答 協定書にもとづく定期協議や循環組合のホームページ、広報誌「たまエコニュース」で市民周知がなされている。



のじま としお 野島 資雄 (公明党)

- 1 市税等の納付書払いの現状と今後について
2 市内民間保育所への支援等について
3 女性活躍社会の推進について



■市内民間保育所への支援等について

問 認可定員と利用定員とのかい離について市長はどのように受け止め、今後対応されていくのか考えを伺う。

答 大きな課題と捉えている。市長就任以来、子どもや子育て世代の人口増加のため様々な取組を行ってきたが、引き続き、子どもや子育て世代の人口増加策を推進していくとともに、在園児数を満たす努力をしていく。



■女性活躍社会の推進について

問 高齢者、特に元気なおばあちゃんの活躍のきっかけづくりをしてほしいが市長の考えを伺う。

答 シルバーマイスター制度などの取組を機会を捉えて周知することにより、高齢者活躍のきっかけづくりとなり、こうした活動がさらに広がることにより、地域社会において多くの元気な高齢者が活躍されることを期待する。

視察報告

全国各地の先進的な取組みを調査研究するため視察を行っています。※詳細は、ホームページに掲載しています。



文化複合施設整備特別委員会

【視察日】令和7年2月3日（月）～4日（火）

【視察地】富山県富山市・富山県立山町

- ・富山市芸術文化ホール オーバード・ホール
- ・立山町防災児童館複合施設 アカリエ
- ・立山町元気交流ステーション みらいぶ

【視察の概要】

各施設において、指定管理者や担当職員から施設の概要や特徴、設立経緯、建設費やランニングコストなどについて説明を受けた後、実際の施設を見学しました。



オーバード・ホール（中ホール）

見学した複合施設の建設手法や運営手法には、様々なアイデアが散りばめられており、それぞれの役割・目的を読み分けていること等、今後の施設の規模やコストへの議論に際し、参考になるものがありました。

議案の議決結果

1月臨時議会

◆全会一致で可決となった議案◆

議案番号	議 案 件 名
72	令和6年度青梅市一般会計補正予算(第6号)

2月定例議会

◆全会一致で可決または同意となった議案◆

議案番号	議 案 件 名
73	令和7年度青梅市一般会計予算
77	令和7年度青梅市下水道事業会計予算
79	令和7年度青梅市病院事業会計予算
80	令和6年度青梅市一般会計補正予算(第7号)
81	令和6年度青梅市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
82	令和6年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
83	令和6年度青梅市介護保険特別会計補正予算(第2号)
84	令和6年度青梅市下水道事業会計補正予算(第2号)
85	令和6年度青梅市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)
86	令和6年度青梅市病院事業会計補正予算(第2号)
87	青梅市立総合病院の建て替えに関する基本計画の変更について
88	青梅市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例
89	青梅市障害者計画等審議会条例
90	青梅市地域共生社会推進審議会条例
91	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
92	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
93	青梅市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
94	青梅市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
95	青梅市一般職の任期付職員の採用および給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例

議案番号	議 案 件 名
96	青梅市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例
97	青梅市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
98	青梅市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
99	青梅市介護保険条例の一部を改正する条例
100	青梅市地域包括支援センターの運営および職員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
101	青梅市融資資金利子補給条例の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
102	青梅市駐車場条例の一部を改正する条例
103	青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
104	青梅市非常勤消防団員にかかる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
105	青梅市吉川英治記念館の指定管理者の指定について
106	物品の買入れについて
107	市道路線の廃止について
108～110	市道路線の一部廃止について
112～119	市道路線の認定について
120	青梅市固定資産評価審査委員会委員の選任について
121	人権擁護委員の候補者の推薦について
122	青梅市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
委員会4	青梅市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

◆賛否が分かれた議案◆

陳情の議決結果

2月定例議会

◆全会一致で趣旨採択となった陳情◆

陳情番号	陳情件名
6-11	手をたずさえて、核兵器や戦争のない平和な世界の実現を！
6-12	日本政府に、「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」を提出することを求める陳情

陳情番号	陳情件名
6-13	原油・物価及びエネルギー価格等高騰に伴う中小企業支援策の実施を求める陳情書

6月定例議会の会議予定について

月日(曜日)	時 間	会 議	備 考
6月10日(火)	午前10時	本会議	議案審議・一般質問
6月11日(水)	午前10時	本会議	一般質問
6月12日(木)	午前10時	本会議	一般質問
(月13日(金))		常任委員会	

月日(曜日)	時 間	会 議	備 考
6月16日(月)		常任委員会	
6月17日(火)	午前10時	予算決算委員会	
	予算決算委員会終了後	全員協議会	
6月24日(火)	午前10時	大会議	委員会審査報告等

※会議予定は、変更になる場合がありますのでお問い合わせください青梅市議会本部（1階）までご連絡ください。



青梅市議会
ホームページ
QRコード